

<table border="1"> <tr> <td>国名</td> <td rowspan="2">子どものための保健サービス強化プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>ラオス</td> </tr> </table>	国名	子どものための保健サービス強化プロジェクト	ラオス
国名	子どものための保健サービス強化プロジェクト		
ラオス			

**I 案件概要**

協力金額	608 百万円	
協力期間	2002年11月～2007年10月	
相手国側機関	保健省、ビエンチャン県およびウドムサイ県保健局	
日本側協力機関	国立国際医療センター	
関連案件	他ドナーの協力： ・世界銀行：保健システム改革及びマラリア対策プロジェクト（1995-2001年） ・アジア開発銀行：プライマリーヘルスケアプロジェクト（～2000年）（ウドムサイ県含む） ・WHOによる技術・資金協力	
プロジェクトの背景	妊産婦死亡率および幼児死亡率が高いという深刻な状況の中で、ラオス政府はこれらに係るミレニアム開発目標（MDGs: Millennium Development Goals）の2015年までの達成に向けた取組みを行ってきた。しかし、その一方で同国において保健サービスがカバーする範囲は限定的であり、特に、遠隔地のコミュニティの住民の保健サービスへのアクセスは限定的であった。そのため、ラオス政府は、同国における母子保健サービスの強化のための技術協力を要請してきた。	
投入実績	日本側	相手国側
	1. 専門家派遣 長期専門家 4 分野 8 人、短期専門家 18 分野 37 人 2. 研修員受入 14 コース 42 人 3. 第3国研修 計 90 人 4. 機材供与 52 百万円 5. 現地業務費 0.92 百万円 6. その他（含、調査団員派遣） 50 百万円	1. カウンターパート配置 計 72 人（保健省、ビエンチャンおよびウドムサイ県保健局） 2. 土地・施設提供 プロジェクトオフィス（保健省、ビエンチャンおよびウドムサイ県保健局） 3. ローカルコスト負担 218 百万キップ
プロジェクトの目的	上位目標 1. 対象県における子どもの健康水準が改善される（ビエンチャン県およびウドムサイ県） 2. プロジェクトによって確立された実用的なシステムが中央レベルと対象県を越えて活用される。	
	プロジェクト目標 小児保健サービスのためのマネジメントシステムが様々なレベルの関係者の参加により保健省と対象県（ビエンチャン県、ウドムサイ県）において強化される。	
	アウトプット - 研修情報システム（TIS: Training Information System）が対象県と中央レベルにおいて確立される。 - ネットワークシステムが対象県と中央レベルにおいて確立される。 - MR（Minimum Requirements）と総合的小児疾患管理（IMCI: Integrated Management for Childhood Illness）が対象県と中央レベルで確立される - IEC（Information, Education and Communication）能力が対象県と中央レベルで向上する。 - 計画、実施、モニタリング、評価およびフィードバックの活動サイクルが対象県と中央レベルで実施される。	

**II 評価結果**

総合評価
<p>妊産婦死亡率および幼児死亡率削減のため、ラオスでは保健サービスネットワークの強化と保健マネジメントシステムの改善が重要な課題となっていた。</p> <p>本プロジェクトは、プロジェクト目標である2つの対象県における小児保健サービスに係るマネジメントシステムの強化を通じて、両県の5歳未満児の保健サービスへのアクセスを拡大するとともに、県病院および郡病院における保健サービスの質の向上を達成した。また、上位目標については、プロジェクトによって確立された実用的なシステムの全国での活用は、MRなどの一部システムの普及にとどまったものの、対象県における子どもの健康水準の改善については、5歳未満児死亡率は低下しており、想定どおりの効果発現が認められる。持続性については、ラオス側の予算不足や技術不足が見られ、財務、技術および制度面で一部課題がある。また、マネジメント能力の不足により、IECやTISなど一部の活動の継続を妨げている。本事業の妥当性については、ラオスの国家開発政策・開発ニーズ、および日本国の援助政策と事前評価時・プロジェクト完了時の両時点において合致しているが、効率性については、協力金額が計画をやや上回った。</p> <p>以上により、総合的に判断すると本プロジェクトの評価は高いといえる。</p>

**1 妥当性**

<p>本プロジェクトの実施は、計画時・プロジェクト完了時ともに、保健サービスのカバー範囲の向上という「第5次、第6次国家社会経済開発計画（2001-05）（2006-10）」および「保健戦略2020年」に掲げられたラオス開発政策、乳幼児死亡率削減に向けた小児保健サービスに係る能力向上という開発ニーズ、並びに日本の援助政策と十分に合致しており、妥当性は高い。</p>
---

## 2 有効性・インパクト

対象 2 県の郡病院の保健サービスの質の向上に向けた品質管理システムとして導入された MR が機能したことにより、県病院および郡病院における保健サービスを受ける 5 歳未満児が増加する一方で、保健サービス利用者の不満足度が低下したことから、本プロジェクトはプロジェクト目標である「小児保健サービスのためのマネジメントサービスの強化」を達成したと判断される。

また、上位目標については、2005 年の人口センサスが最新データであるため、統計的な検証は行えなかったものの、事後評価時点において「対象県における 5 歳未満児の健康水準の改善」は達成されたことが確認された。ビエンチャン県保健局によれば、5 歳未満児死亡率は千出生当たり 2002 年時点の 50 人から 2011 年時点 35 人に減少しており、ウドムサイ県保健局によれば、県病院の記録では 2006～10 年の間の 5 歳未満児死亡件数は 40 件とされている。また、もう一つの上位目標である「本プロジェクトで確立したシステムの普及」については、部分的に達成された。MR やコミュニケーションネットワークは全国で活用されており、プロジェクトで推進した IMCI はさらに円滑に実施されるようになっている。特に、プロジェクトにより郡病院の管理向けに開発された MR は、保健省により保健センターレベルで導入され、普及されている。

以上により、有効性・インパクトは高い。

## 3 効率性

本プロジェクトは成果の産出に対し投入要素が適切であり、協力期間は計画どおり（計画比 100%）であったが、協力金額は計画を若干上回ったため（計画比 122%）、効率性は中程度である。

## 4 持続性

ラオスの保健政策には、MR に関するガイドラインの策定とその全国への普及、さらに全国的な「子供の健康キャンペーン」が盛り込まれている。しかし、本プロジェクト実施以降、ラオス側の実施体制は維持されているものの、職員数が不足しているうえ、事務的および専門的業務の双方をこなさなければならないことなどが、保健マネジメントの向上に向けた活動の継続の制約要因となっている。技術面では、本プロジェクトで訓練された職員は、MR、IMCI あるいはコミュニケーションネットワークに関するスキル・知識を維持しており、実地訓練を通じて他の職員への指導を行っている。コミュニティ保健教育のために本プロジェクトで導入された IEC のスキルの活用については、一部存続している。しかし、県保健局内の異なる部局間のコミュニケーションや調整不足から、TIS の活動はすでに停止している。また、IEC を担当する職員の技術的なスキルが不十分であるため、IEC に関する活動の普及は進んでいない。財務面については、MR および IMCI はマネジメント能力の強化に重点を置いており、かつそれほど費用を要しないことから、同活動の継続性は確保されることが見込まれている。しかしながら、県保健局および郡保健局の予算が不十分なため、IEC およびコミュニケーションネットワークに関する活動はドナーの資金に依存している状況にある。

以上により、本プロジェクトによって発現した効果の持続性は中程度である。

## III 教訓・提言

実施機関への提言：

本プロジェクトの効果の持続性を確保し強化するためには、上位機関（保健省による県保健局、県保健局による郡保健局）による定期的なモニタリング・監理を制度化することが求められる。また、定期的なモニタリングといった保健サービスの提供に係る管理の強化に向けて、関係者間の適切なコミュニケーションを促進するとともに、保健スタッフが現場の各活動の意義を理解することが重要である。

JICA への教訓：

JICA の技術協力により構築されたシステムを全国に普及するには、MR の例にみられるように、早い段階から中央レベルの関与が不可欠である。それにより、プロジェクトの効果に係る活動を優先し、それらの活動を標準化、また追加予算なしで通常業務に組み込むための政策レベルでの意思決定に反映することが可能となる。

また、保健省と他のドナーとの緊密なコミュニケーションや調整により、支援の重複や齟齬を避け、同時に途上国政府および他ドナーの資金を効率的に動員するための包括的な政策・戦略の策定や基準作りを行うことが重要である。



郡病院で健診を受ける母子



郡病院の MR モニタリング図